

EA116KA エアコンプレッサー(DC12V) 取扱説明書

この度は、当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
製品を安全にご使用頂く為に、取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い致します。

◆仕様

- ・電源…DC12V
- ・使用圧力…0.8MPa(8kgf/cm²)
- ・吐出し空気量…112L/min
- ・空気タンク容量…5L
- ・カプラーソケット2個付
- ・自動圧力スイッチ及びレギュレーター付

◆各部名称



◆初期始動

- 1、オイルの量を確認して下さい。
- 2、ドレンプラグを開いて下さい。
- 3、ブースターケーブルをバッテリーに接続して下さい。
- 4、無負荷状態で最低2分間コンプレッサーを駆動させ、軸受けやピストンに油を潤滑させ、ピストンリングをなじませて下さい。
- 5、ドレンプラグを閉じてレギュレーター調整ノブを閉じて下さい。



ドレンプラグ

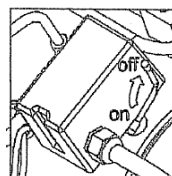
◆操作手順

・起動チェック

- 1、ホースや付属品を装着する前に、圧力スイッチレバーが「OFF」に設定され、レギュレーター調整ノブが閉じられていることを確認して下さい。
- 2、ホースや付属品を装着して下さい。過剰な空気圧は爆発の危険性を生じます。エアーツールや付属品の最大圧力を確認して下さい。レギュレーターの排出圧力が最大圧力を超えないようにして下さい。
- 3、圧力スイッチレバーを「ON」にし、圧力を高めて下さい。モーターは一定以上の圧力に達した時、自動的に停止します。
- 4、レギュレーター調整ノブを時計回りに回して、圧力を調整して下さい。圧力を調整したらコンプレッサーは使用可能です。

・作業終了時

- 1、圧力スイッチを「OFF」にして下さい。
- 2、エアーツールや付属品を使用している時は、タンク圧力を「0」に減圧して下さい。
- 3、エアーツールや付属品を外して下さい。
- 4、ドレンバルブを開いて空気タンクから水を排水して下さい。
水はタンク内で凝縮し、排水を怠ると空気タンクを腐食・弱体化させ、空気タンク破裂の危険性が生じます。

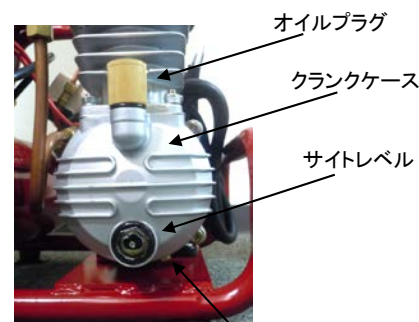


◆オイルの注入

- 1、オイルプラグを取り外して下さい。
- 2、コンプレッサー用オイルをクランクケースにゆっくり注いで下さい。
- 3、サイトレベルの中間位置付近にオイルが見えれば最適なオイル量です。

◆オイルの交換(300時間の使用または3ヶ月経過)

- 1、オイルプラグとオイルドレンプラグを取り外し、オイルを完全に排出して下さい。
- 2、オイルドレンプラグを元に戻して下さい。(プラグにシールテープを巻くと漏れません。)
- 3、コンプレッサー用オイルをクランクケースにゆっくり注いで下さい。
- 4、サイトレベルの中間位置付近にオイルが見えれば最適なオイル量です。



オイルドレンプラグ

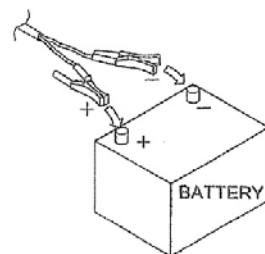
◆寒冷気候条件

稼働地点の周囲の温度	SAE粘度	ISO粘度
-16°C~0°C	SAE 10W	ISO 32
1°C~26°C	SAE 20W	ISO 68
27°C以上	SAE 30W	ISO 100



注意事項(操作の前に必ずお読みになり理解してください)

- 1、コンプレッサーを稼働させる前にオイルが十分であるか確認し、モーターが停止した後にのみ、オイルを充填して下さい。
- 2、ブースターケーブルをバッテリーに接続、または取り外す時は圧力スイッチをOFFにして下さい。
- 3、コンプレッサーを使用していない時は、圧力スイッチをOFFにして下さい。
- 4、コンプレッサーを使用していない時は、ブースターケーブルをバッテリーから外して下さい。
- 5、電圧が同じであることを確認してからバッテリーに接続して下さい。
- 6、ブースターケーブルとバッテリーの接続は、極性が正しいことを確認してから接続して下さい。

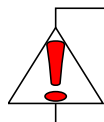


警告(本製品の不適当な操作や保守は、重大な傷害や損害を引き起こすことがあります。)

危険	発生現象	予防処置
① 操作の危険性	コンプレッサーの危険な操作は重大な傷害を引き起こすことがあります。	・取扱説明書を必ず読み、よく理解して下さい。 ・制御・操作方法をよく理解して下さい。 ・子供やペット及び障害物等を本体周辺に近づけないで下さい。 ・疲れている時やアルコール、薬の影響がある時は本製品を操作しないで下さい。 ・操作周辺には消火器を備えて下さい。 ・紛失・破損した部品、あるいは認定外の部品を使用しないで下さい。
② エアータンク爆発の危険性	下記の状況はタンクの弱体化につながり、激しいタンク爆発を引き起こすことがあります。 ・適切な排水を行わないと、錆が発生しタンク壁を薄くします。 ・タンクの修理・改造等 ・圧力スイッチや安全弁、その他構成部品の修理・改造等	・最大圧力を超えないようにして下さい。 ・ボール等の低圧力な物を膨らませる用途には使用しないで下さい。 ・定期的にタンク内の水を排水して下さい。
③ エアーツ具等爆発の危険性	エアーツ具、スプレーガン、タイヤやゴムボールの圧力数値を超えることは、対象物を爆発・飛散させることがあります。	・対象の使用圧力範囲を把握し、範囲外での使用は絶対にしないで下さい。
④ 感電の危険性	コンプレッサーは電気で稼働します。他の電気機器と同様、適正に使用しないと感電することがあります。	・電気配線及び修理は公認の電気技師のもと、使用地域の電気規格に従って下さい。 ・適正なアース・電圧・ヒューズが守られていることを確認して下さい。 ・雨天時や湿った環境下で使用しないで下さい。
⑤ 爆発、または火災の危険性	コンプレッサーの起動・停止時、通常モーターと圧力スイッチ内での電氣的接触により火花が散ることがあります。可燃性蒸気のある環境下でコンプレッサーを稼働させると重大な事故を引き起こすことがあります。	・コンプレッサーはガソリンや可燃性蒸気のない、常に換気された場所で稼働させて下さい。 ・可燃性物質をスプレーする場合、スプレーする場所から最低6m以上離れた場所にコンプレッサーを置いて下さい。 ・可燃性物質はコンプレッサーから離れた安全な場所に保管して下さい。
⑥ 有毒物質吸入の危険性	コンプレッサーの圧縮空気には一酸化炭素や蒸気、微粒子が含まれています。また塗料、塗料溶剤、塗料除去剤、殺虫剤、除草剤等をスプレーした物には有毒な蒸気や毒素が含まれており、吸引すると重大な傷害を引き起こすことがあります。	・吸入器からの吸入であっても、コンプレッサーからの圧縮空気は吸入しないで下さい。 ・換気の良く行き届いた場所で作業をして下さい。 ・スプレーする物質のラベルや安全データシート、取扱説明書をよく読み、理解して下さい。 ・使用目的に沿った防護マスクを着用して下さい。
⑦ 圧縮空気の危険性	圧縮空気は体組織への損傷をもたらすことがあります。また、泥、切れ端、微粒子や小さな物を高速で吹き付けることにより、器物破損や人体への損傷を引き起こすことがあります。	・コンプレッサー使用時は、サイドカバーの付いた防護メガネを常に着用して下さい。 ・ノズルやスプレーガンを人や動物に向けしないで下さい。 ・エアーツ具の修理や部品交換時は、コンプレッサーの電源を切り、エアースホースを外して下さい。
⑧ 回転部分からの危険性	圧力スイッチがONの時、コンプレッサーは自動で稼働しています。コンプレッサー稼働中に修理や保守の為、回転部分に触れると重大な損傷を引き起こすことがあります。	・修理や保守を実施する前には、ブースターケーブルを外し、タンクや付属品から空気圧を緩めて下さい。 ・ガードやカバーが傷んだり取り除かれた状態でコンプレッサーを稼働させないで下さい。
⑨ 火傷の危険性	コンプレッサー上部や排出管のような熱い部分に触れると重大な火傷を負うことがあります。	・コンプレッサーの稼働中や停止直後は、コンプレッサーに触れないで下さい。 ・コンプレッサーが冷却されるまで、防護カバーに触れたり、メンテナンス作業をしないで下さい。

◆トラブルシューティング

状況	推測される原因	対処
① 過剰なタンク圧力	1.圧カスイッチの欠陥 2.不適切な配線	1.圧カスイッチを「OFF」にして下さい。電源が落ちない場合、ブースターケーブルを外して下さい。圧カスイッチ交換の必要があります。 2.接続が良好の場合、レギュレーター調整ノブ内のピンが動かなくなっていないか点検して下さい。もしピンが動かないようであればレギュレーター調整ノブを交換する必要があります。 3.圧カスイッチを調整または交換する必要があります。
② 付属品からのエアー漏れ	1.付属品が十分に締まっていない。	1.エアー漏れの可能性がある箇所を締めて下さい。石鹸や水を使って、付属品をチェックして下さい。その際、締めすぎないように注意して下さい。
③ チェックバルブからのエアー漏れ	1.チェックバルブの汚れ、または欠陥	1.タンク内に圧力が残っており、コンプレッサーの電源が切れている場合、欠陥のあるチェック弁はレギュレーター部分で絶えずエアー漏れを起こします。チェック弁を取り外して清掃または交換する必要があります。購入代理店へご相談下さい。
④ 圧カスイッチ、アンローダー弁のエアー漏れ	1.圧カスイッチ、アンローダー弁の欠陥	1.購入代理店へご相談下さい。
⑤ エアータンク、エアー溶接部からのエアー漏れ	1.エアータンクの欠陥	1.エアータンクの交換。エアー漏れを自ら修理しないで下さい。タンクの変更はタンクを弱くし、破裂や爆発の可能性もあります。
⑥ ヘッドとプレートからのエアー漏れ	1.ヘッド、ガスケットの破損	1.購入代理店へご相談下さい。
⑦ エアー工具使用時に圧力表示が低下する	1.一般的に一定の圧力低下が発生します。	1.エアー工具使用時の圧力低下が過剰である場合は取扱説明書に従い、レギュレーターで調整して下さい。
⑧ 安全弁からのエアー漏れ	1.安全弁の欠陥	1.リングを引いて安全弁を操作して下さい。それでもエアー漏れがある時は安全弁を交換して下さい。
⑨ 十分なエアーが供給されない	1.非常に長い過剰なエアー消費 2.コンプレッサーが必要なエアー量に対して十分な大きさを備えていない。 3.エアー吸入口フィルターが制限をうけている。 4.電源が接続されていない。 5.ホースに穴が開いている。 6.チェックバルブによる制限をうけている。 7.エアー漏れ	1.エアー消費量を減らして下さい。 2.エアー工具のエアー消費量を確認して下さい。エアー工具のエアー消費量がコンプレッサーのエアー供給量より高い場合は、さらに大きなコンプレッサーが必要になります。 3.エアー吸入口フィルターを掃除するか交換して下さい。塗料をスプレーする場所で、コンプレッサーを稼働させないで下さい。 4.通電しているバッテリーにブースターケーブルをつないで下さい。 5.ホースを点検して、必要であればホースを交換して下さい。 6.チェックバルブを取り外し掃除して下さい、または交換して下さい。 7.エアー工具をしっかり締めて下さい。
⑩ モーターが動かない	1.自動圧カスイッチが「作動」圧力を超えている。	1.自動圧カスイッチが「作動」圧力未満に低下した際、モーターは自動的に起動します。
⑪ モーターが稼動しない(稼動できない)	1.チェックバルブが開いて動かない。 2.電気配線の接続が緩んでいる。 3.コンデンサーの欠陥の可能性 4.モーター部品内部への塗料噴霧の可能性 5.モーターの欠陥の可能性 6.圧カスイッチの圧カアンローダー弁が上部圧力を抜いていない。	1.チェックバルブを外して掃除、または交換して下さい。 2.電気配線の接続を確認して下さい。 3.購入代理店へご相談下さい。 4.購入代理店へご相談下さい。塗料をスプレーする場所でコンプレッサーを稼働させないで下さい。 5.購入代理店へご相談下さい。 6.圧カスイッチのレバーを押して「OFF」の位置にして、ラインから空気を抜いて下さい。弁が開かない場合、弁を交換して下さい。
⑫ レギュレーター調整ノブに継続的なエアー漏れがあり、エアー排出口が閉じない	1.レギュレーターの内部部品の汚れ、または損傷	1.レギュレーターを交換して下さい。



改造はしないでください。

- ・本機の寿命を著しく損ねる場合があります。
- ・ご使用者が怪我をする場合があります。
- ・作業工程に支障を来す場合があります。

株式会社 エスコ

本社／〒550-0012 大阪市西区立売堀3-8-14

TEL: (06)6532-6226 FAX: (06)6541-0929